

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 2 月 22 日 (2007.2.22)

【公開番号】特開 2006-23669 (P2006-23669A)

【公開日】平成 18 年 1 月 26 日 (2006.1.26)

【年通号数】公開・登録公報 2006-004

【出願番号】特願 2004-203758 (P2004-203758)

【国際特許分類】

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/42 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 21/00 3 7 6

G 0 3 G 21/00 3 8 6

B 4 1 J 29/42 F

H 0 4 N 1/00 C

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 12 月 15 日 (2006.12.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

画像情報に基づいて画像を形成する画像形成手段と、動作条件を表示するとともに該条件の設定及び実行入力が可能な第 1 の表示画面と装置の機械状態を管理する第 2 の表示画面と出力中及び出力予約されたジョブを管理する第 3 の表示画面とを各々独立した制御によって表示されている表示画面に拘わらず各表示画面を表示させて動作可能な表示手段とを備えることを特徴とする画像形成装置。

【請求項 2】

前記表示手段は、前記表示画面の表示選択が可能であることを特徴とする請求項 1 記載の画像形成装置。

【請求項 3】

前記表示手段は、前記各表示画面を表示選択する指示部が並列して配置されていることを特徴とする請求項 2 記載の画像形成装置。

【請求項 4】

前記表示手段は、前記表示画面の 2 以上を領域を区切って同時に表示可能であることを特徴とする請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の画像形成装置。

【請求項 5】

装置の異常を検知する異常検知手段を備えることを特徴とする請求項 1 ~ 4 のいずれかに記載の画像形成装置。

【請求項 6】

前記第 1 の表示画面は、新規ジョブを予約するジョブ予約手段を備えることを特徴とする請求項 1 ~ 5 のいずれかに記載の画像形成装置。

【請求項 7】

第 1 の表示画面に表示されているジョブに異常が発生した場合、第 1 の表示画面に異常発生通知表示を行い、第 1 の表示画面に表示されていないジョブに異常が発生した場合、第

2 の表示画面に異常発生通知表示を行うことを特徴とする請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の画像形成装置。

【請求項 8】

前記異常発生通知表示は、簡易機械図を用いた異常状態表示であることを特徴とする請求項 7 記載の画像形成装置。

【請求項 9】

第 2 の表示画面に異常発生通知表示を行う際に、JOB を特定して表示することを特徴とする請求項 7 または 8 に記載の画像形成装置。

【請求項 10】

前記異常発生時に前記表示手段で第 2 の表示画面が表示されていない場合、前記表示手段は、第 2 の表示画面を表示選択する指示部に異常発生通知表示を行うことを特徴とする請求項 1 ～ 9 のいずれかに記載の画像形成装置。

【請求項 11】

前記異常発生通知表示が、前記指示部の点滅表示であることを特徴とする請求項 10 記載の画像形成装置。

【請求項 12】

中断中ジョブがある場合に、第 2 の表示画面に該ジョブの中断詳細内容を選択表示することを指示する詳細表示指示部を有することを特徴とする請求項 1 ～ 11 のいずれかに記載の画像形成装置。

【請求項 13】

少なくとも電源オン時に表示されるデフォルト画面を、第 1 ～ 第 3 の表示画面の中から任意に選択可能とする選択手段を有することを特徴とする請求項 1 ～ 12 のいずれかに記載の画像形成装置。

【請求項 14】

前記表示手段は、コピー及びコピー予約開始時に、第 1 の表示画面にコピー予約を継続する／しないの選択手段を設け、継続することが選択された場合、第 1 の表示画面のままとし、継続しないことが選択された場合は前記デフォルト画面へ遷移することを特徴とする請求項 13 記載の画像形成装置。

【請求項 15】

原稿を読み取って画像情報を得る読み取り手段と、画像情報を記憶する記憶手段とを備えることを特徴とする請求項 1 ～ 14 のいずれかに記載の画像形成装置。

【請求項 16】

前記表示手段は、第 2 の表示画面で前記読み取り手段と前記画像形成手段の状態表示を独立に表示可能であることを特徴とする請求項 15 記載の画像形成装置。

【請求項 17】

中断中ジョブについて、前記読み取り手段と画像形成手段とを独立して再起動可能であることを特徴とする請求項 15 または 16 に記載の画像形成装置。

【請求項 18】

前記表示手段は、ジョブに異常が発生した場合に、異常発生画面が表示され、該異常発生画面の表示状態で表示画面の表示選択が行われると、選択がなされた表示画面に遷移することを特徴とする請求項 1 ～ 17 のいずれかに記載の画像形成装置。

【請求項 19】

ジョブに異常が発生した場合、該異常発生ジョブが現在表示されているジョブに係るものであるか否かの判定を行い、該判定の可否に応じて前記表示手段に異なる表示を行うことを特徴とする請求項 1 ～ 18 のいずれかに記載の画像形成装置。

【請求項 20】

少なくとも電源オン時に表示されるデフォルト画面に依って、表示画面の表示内容を相違させることが可能であることを特徴とする請求項 1 ～ 19 のいずれかに記載の画像形成装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

すなわち本発明の画像形成装置のうち、第1の発明は、画像情報に基づいて画像を形成する画像形成手段と、動作条件を表示するとともに該条件の設定及び実行入力可能な第1の表示画面と装置の機械状態を管理する第2の表示画面と出力中及び出力予約されたジョブを管理する第3の表示画面とを各々独立した制御によって表示されている表示画面に拘わらず各表示画面を表示させて動作可能な表示手段とを備えることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

第17の発明の画像形成装置は、第15または第16の発明において、中断中ジョブについて、前記読み取り手段と画像形成手段とを独立して再起動可能であることを特徴とする。

さらに、第18の発明の画像形成装置は、第1～17のいずれかの発明において、前記表示手段は、ジョブに異常が発生した場合に、異常発生画面が表示され、該異常発生画面の表示状態で表示画面の表示選択が行われると、選択がなされた表示画面に遷移することを特徴とする。

第19の発明の画像形成装置は、第1～18のいずれかの発明において、ジョブに異常が発生した場合、該異常発生ジョブが現在表示されているジョブに係るものであるか否かの判定を行い、該判定の可否に応じて前記表示画面に異なる表示を行うことを特徴とする。

第20の発明の画像形成装置は、第1～19のいずれかの発明において、少なくとも電源オン時に表示されるデフォルト画面に依って、表示画面の表示内容を相違させることが可能であることを特徴とする。